

平成28年5月の研究助成公募情報

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
~New~ H28.5.17	2016/7/15	2016/5/1~7/31 当日消印有効	書類申請	公益財団法人東洋食品研究所 平成28年度研究助成	公益財団法人東洋食品研究所 TEL 072-740-3300 FAX 072-758-6934 http://www.shokuken.or.jp	(1)食品資源に関する分野: 農産原料栽培、育種に関する研究等 (2)食品科学に関する分野: 安全・衛生、機能・栄養、食品物性に関する研究等 (3)食品加工に関する分野: 製造・加工、調理、殺菌、容器包装・保存、流通に関する研究等	・大学・研究機関に所属し、先駆的・独創的研究に従事する若手研究者で、助成申請に当たり所属機関の推薦が得られること。 ・申請課題については、国その他の機関から助成を重複して受けていないことを原則としますが、他の機関等からの助成を受けている場合には、申請時に申告下さい。	1件当たり 1,000千円とします。 本年度の採用は5~10件程度を予定しています。	選考 当財団の選考委員会において公正に審査し、平成28年11月下旬までに採否を連絡します。 贈呈式 採択された研究課題に対する助成金の贈呈式を平成29年2月中に行います。
H28.5.17	2016/6/16	2016/6/1~6/30	電子申請 web	大日本住友製薬 創薬共同研究募集プログラム	大日本住友製薬(株) TEL 080-4069-2204 Email vavoi-matsumoto@ds-pharma.co.jp http://www.ds-pharma.co.jp/prism/	グループ1 新規創薬シーズの探索/検証 新規創薬シーズに関わる研究アイデアのご提案 創薬標的/評価系/化合物/作用機序/技術等の探索/検証等 グループ2 創薬研究ニーズの課題解決 創薬研究における課題を解決するアイデアのご提案 新規創薬技術/評価系/バイオマーカーの開発等 グループ3 弊社が保有する化合物の新規適応疾患の創出 弊社が保有する化合物の新規活用アイデアのご提案 新規適応疾患への応用を目指した検証等	応募対象者 日本国内の大学や研究機関、企業などに所属する研究者で、応募内容の研究を日本国内で遂行可能な方。 ※外部発表・学内発表等を優先しなければならない大学院生などの応募はご遠慮ください。	研究費用 グループ1 ~500万円/案件/年 グループ2 ~500万円/案件/年 グループ3 ~500万円/案件/年	グループ1 原則1年間 グループ2 原則1年間 グループ3 原則1年間
H28.5.17	2016/7/15	2016/7/30 午後5時必着	書類申請	公益財団法人ユニバーサル財団 平成28年度研究助成 健やかでこころ豊かな社会をめざして	公益財団法人ユニバーサル財団 Tel.03-3350-9002 Fax.03-3350-9008 e-mail:info@univers.or.jp http://www.univers.or.jp/	1. 社会保障制度を育てる (例)①年金保険・社会手当、②医療・介護の充実、③認知症対策、④次世代育成、⑤貧困・格差対策、⑥災害時の社会保障、⑦労働者の権利保障 2. 心と健康 (例)①高齢者の心と健康、②認知症・高齢者介護、③高齢者の孤立・貧困・虐待等、④出産・子育て支援、⑤子どもの虐待・貧困等、⑥子どもの教育、⑦障がい児の保育・教育、⑧不登校・いじめ問題、⑨若者支援、⑩引きこもり青少年対策 3. コミュニティの役割 (例)①地域福祉、②市民活動・国際協力、③高齢者の社会参加・いきがい、④社会全体の子育て、⑤障がい者支援、⑥世代間交流、⑦介護者支援、⑧地域の文化継承と発展、⑨外国人の地域への定住	申請資格 (1)大学、研究機関、教育機関等において研究教育活動に従事されている方。 (2)大学院修士課程または博士前期課程に在籍されている方、ならびに修了された方、またはそれと同等以上の資格もしくは能力を有する方。	原則として1件当たり100万円を上限と致しますが、助成額については研究の内容及び規模により査定をさせていただきます。	2016年11月~2017年10月(1年間)
H28.5.17	2016/8/26	2016/9/9	書類申請及び電子申請 Email	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 日米科学技術協力事業「脳研究」分野における2017年度各種事業の募集 1.共同研究者派遣 2.グループ共同研究 3.情報交換セミナー	自然科学研究機構岡崎統合事務センター総務部国際研究協力課国際係 TEL:0564-55-7137、FAX:0564-55-7119 E-mail:japan-us-brcp@orion.ac.jp http://www.nips.ac.jp/iusunou/	1.共同研究者派遣 2.グループ共同研究 3.情報交換セミナー 1~3 共通 研究分野:脳一般に関する研究(以下に分野を示す) ①細胞・分子 ②発達・可塑性・修復 ③行動・システム・認知 ④疾病の神経生物学	1.国・公・私立大学及び関連する研究機関において研究に従事する若手研究者(文部科学省科学研究費補助金の応募資格があり、概ね35歳以下の者) 2.国・公・私立大学及び関連する研究機関において研究に従事する者(科学研究費補助金の応募資格のある者)、分担者については学生も可。 3.国・公・私立大学及び関連する研究機関において研究に従事する者(科学研究費補助金の応募資格のある者)	1.派遣経費:交通費・日当・宿泊料を支給します。 2.日本側グループ組織の代表者及び分担者が米国で共同研究を実施する際の交通費・日当・宿泊料を支給します。 3.日本で開催の場合...日本人講演者の国内旅費及び会議費・米国で開催の場合...日本人講演者の交通費・日当・宿泊料上記の経費について、2,000,000円程度を上限として支給します。	1.派遣期間 派遣期間:原則として9ヶ月以内(ただし、会計年度を超えない期間とします。) 2.実施年度 2017年度から2~3年間 3.開催年度 2017年度(2017年6月~2018年2月の間に開催)
H28.5.17	2016/6/16	2016/6/30 消印有効	書類申請	公益財団法人SGH財団 第28回平成28年度SGHがん研究助成	公益財団法人SGH財団 事務局 TEL 075-255-9310 / FAX 075-255-9311 e-mail info_cr@sgh-foundation.or.jp http://www.sgh-foundation.or.jp/gan/	がんの基礎及び臨床における優れた研究	日本の大学、研究機関、医療機関等において、「がん」に関する基礎研究または臨床研究に携わる日本人研究者及び医療従事者、ならびに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者(個人またはグループ)。ただし、平成28年4月1日現在満45歳未満とする。	金額 1件100万円(15件)	期間 1年間(おおむね平成28年12月から翌年12月まで)
H28.5.17	2016/6/16	2016/6/30	電子申請 Email	一般財団法人医療経済研究・社会保障福祉協会 医療経済研究機構 2016年度第20回研究助成	一般財団法人医療経済研究・社会保障福祉協会 医療経済研究機構「研究助成事務局」 TEL:03-3506-8529 FAX:03-3506-8528 E-mail.grant@ihep.jp http://www.ihep.jp/business/grant/	(A)(B)の①から⑤のいずれかを選択 (A)指定課題研究助成 ①終末期ケアの費用対効果とその在り方に関する研究 ②認知症ケアの費用対効果とその在り方に関する研究 ③前期高齢者医療制度の評価に関する研究 ④医療保険・介護保険 相互の接続に関する研究 ⑤介護予防(フレイル、転倒、認知症等)の評価に関する研究 (B)若手研究者育成研究助成 ①医療保険及び介護保険に関する政策的研究 ②診療報酬及び介護報酬に関する政策的研究(①を除く) ③費用便益分析・費用効用分析・費用効果分析等を用いた政策的研究 ④医療・介護産業に関する政策的研究 ⑤医療・介護の提供体制に関する政策的研究	対象者 (1)上記の分野に関する科学的実証的研究を志向する個人又はグループとします(医療系研究者および社会系研究者との共同研究を歓迎します)。 (2)主たる研究者は、国内研究機関に常勤で勤務・所属する研究者・院生を対象とします。 (3) (A)指定課題研究助成について年齢制限はありません。(B)若手研究者育成研究助成は主たる研究者は40歳以下(2016年4月1日現在。但し、博士課程、修士課程に在籍の場合は年齢制限を設けませんが、別途、前職等の資格について審査します。)を対象とします。 (4)過去に本機構の助成を受けたことが無い方を原則とします。	助成額 (A)指定課題研究助成:1件当たり概ね150万円~250万円を予定。 (B)若手研究者育成研究助成:1件当たり概ね50万円~100万円を予定。	2016年10月から2017年9月末までに実施する研究を対象とします。

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
H28.5.17	2016/6/16	2016/4/1～6/30 当日消印有効	書類申請	公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団 平成28年度ヘルスリサーチ研究に関する第25回助成案件公募	公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団 (電話)03-5309-6712 (FAX)03-5309-9882 URL : http://www.health-research.or.jp/ E-mail : hr.zaidan@health-research.or.jp	国内におけるヘルスリサーチ領域の問題解決型の共同研究であること。 *各「募集要項」の「ヘルスリサーチ研究領域と例示」を参照のこと。 ① 制度・政策に関する研究 ② 医療経済に関する研究 ③ 保健医療の評価に関する研究 ④ 保健医療サービスに関する研究 ⑤ 保健医療資源の開発に関する研究 ⑥ 医療哲学に関する研究 A. 国際共同研究 B. 国内共同研究(年齢制限なし) C. 国内共同研究(満39歳以下)	A B C 共通 応募者要件 ・保健・医療・福祉及びその関連領域において研究を志向する国内在住者とする。 ・過去に本財団のヘルスリサーチ研究助成を受賞したことのある場合は、いずれの категорияへの応募についても、受賞年より3年以上経過していること。 Cのみ 応募者要件 ・2016年4月1日現在における年齢が満39歳以下であること。 その他、詳細な要件については公募要領参照	A. 国際共同研究 上限300万円/件 8件程度 B. 国内共同研究(年齢制限なし) 上限130万円/件 14件程度 C. 国内共同研究(満39歳以下) 上限100万円/件 14件程度	A. 国際共同研究 助成期間 2016年12月1日～2017年11月30日 B. 国内共同研究(年齢制限なし) 助成期間: 2016年12月1日～2017年11月30日 C. 国内共同研究(満39歳以下) 助成期間: 2016年12月1日～2017年11月30日
H28.5.17	2016/5/27	2016/4/11～6/10 日本時間午後三時まで	電子申請 web	公益財団法人トヨタ財団 2016年度国際助成プログラム	公益財団法人トヨタ財団 お問い合わせはwebフォームから https://www.toyotafound.or.jp/topics/toyotafound/	テーマ アジアの共通課題と相互交流 一学びあから共感へ サブテーマ A. 多世代・多文化を包摂する地域コミュニティ B. 新しい文化の創造: これからのアジアの共通基盤の構築 C. オープン領域	対象国 日本を含む東アジア・東南アジアの国・地域 応募対象者の要件 複数の対象国・地域に拠点を置き、当該課題解決に対する実績・知見を持つ実践者、研究者、クリエイター、政策担当者、メディア関係者等、適切かつ多様なメンバーによって構成されるチーム	助成額 a) 1年間プロジェクト: 上限500万円/件 b) 2年間プロジェクト: 上限1000万円/件	助成期間 1年間(2016年11月～2017年10月) または 2年間(2016年11月～2018年10月)
H28.4.14	2016/5/17	2016/4/1～5/31	電子申請 Email	公益財団法人鉄鋼環境基金 第37回(2016年度)環境助成研究募集	公益財団法人 鉄鋼環境基金 TEL 03-5652-5144 FAX 03-5641-2444 メールアドレス: sept.senmu@sept.or.jp http://www.sept.or.jp/	一般研究助成、若手研究助成とも、鉄鋼製造に関連する環境保全技術課題に関する研究を助成対象とします。 (1) 大気環境保全技術 (2) 土壌・水質保全技術 (3) 副産物の利用促進技術 (4) 地球環境問題 (5) エコプロセス 上記技術課題の中で、現在、鉄鋼関連で特に関心があるのは以下の課題です。 (1) 水銀・微小粒子状物質(PM2.5)の対策技術 (2) 排水中重金属の除去・回収技術 (3) 鉄鋼スラグ(高炉スラグ、転炉スラグ、電気炉スラグ等)の利用技術及び高付加価値化技術 (4) 鉄鋼製造プロセスにおける抜本的な二酸化炭素排出削減技術	応募資格 (1) 一般研究助成: 原則として、日本国内にある組織(大学・企業等の法人又は実体のある任意団体、以下同)に所属する研究者。 (2) 若手研究助成: 日本国内にある組織に所属する研究者で、2016年4月1日現在満年齢39歳(2年計画で申請する場合は38歳)以下の者。 なお、39歳以下でも一般研究助成に応募することができます。 ★応募は、一人一件とする。	一般助成研究及び若手助成研究合計で50～60件程度とします。 (1) 一般研究助成: 1件当たり1,500千円/年以下とします。2年目の継続研究も1,500千円/年以下とし、3年目の継続研究は1件当たり1,000千円/年以下とします。 (2) 若手研究助成: 1件当たり1,000千円/年以下とします。2年目の継続研究も1,000千円/年以下とします。	助成研究の実施期間は、原則として2016年11月から2017年10月までの1年間とします。
H28.4.14	2016/9/6	2016/9/20	書類申請及び電子申請 郵送・web	公益財団法人井上科学振興財団 第33回(2016年度)井上研究奨励賞受賞候補者の推薦について	公益財団法人 井上科学振興財団 電話 : 03-3477-2738 FAX : 03-3477-2747 E-mail : inoue-fs@inoue-zaidan.or.jp http://www.inoue-zaidan.or.jp/	理学・工学・医学・薬学・農学等の自然科学の基礎的研究 推薦者 原則として、博士論文の作成を指導した研究者とする。	2013年4月1日～2016年3月31日(2013年度～2015年度)の過去3年間に、理学・工学・医学・薬学・農学等の自然科学の基礎的研究において、新しい領域を開拓する可能性のある優れた博士論文を提出し、博士の学位を取得した研究者で、2016年9月20日現在の年齢が37歳未満の者	研究奨励賞 本賞: 賞状及び銅メダル 副賞: 50万円 授賞予定件数は40件	対象期間 2013年4月1日～2016年3月31日(2013年度～2015年度)の過去3年間
H28.4.14	2016/7/15	2016/7/29	書類申請及び電子申請 郵送・Email	公益財団法人井上科学振興財団 第9回(2017年度)井上リサーチアワード募集	公益財団法人 井上科学振興財団 電話 : 03-3477-2738 FAX : 03-3477-2747 E-mail : inoue-fs@inoue-zaidan.or.jp http://www.inoue-zaidan.or.jp/	自然科学の基礎的研究で優れた業績を挙げ、更に開拓的発展を目指す若手研究者の独創性と自立を支援することを目的とし、これまでの成果を踏まえ、単独で又は共同研究者の協力を得て行う将来性豊かな研究計画を対象として助成する。	次のすべての事項に該当すること 1. 自然科学の基礎的研究で博士の学位を取得した研究者で、学位取得後9年未満(2017年3月31日現在)であること。すなわち、2008年4月1日以降に博士の学位を取得した研究者であること。ただし、出産又は子の養育のために、やむを得ず研究活動を中断した場合には、その中断期間は学位取得後の年限には含まないものとする。 2. 国内の国公立大学並びに大学共同利用機関に所属する研究者又は所属予定の研究者であること	賞状及び研究助成金を贈呈する。 助成金の額は、一人当たり500万円とする。 なお、助成金の使途は、本研究推進に直接寄与する経費(共同研究員を雇用するための経費を含む。)とし、間接経費等機関の共通経費に使用することはできない。	研究期間は2年とする。
H28.4.14	2016/7/1	web申請 2016/7/15 24時 郵送 2016/7/19 12時必着 そろった段階で正式受理	書類申請及び電子申請	公益財団法人ロッテ財団 2017年度研究助成事業 研究者育成助成(ロッテ重光学術賞)	公益財団法人ロッテ財団 研究助成担当 TEL 03-5388-5564 Email lotte.zaidan@lotte.co.jp http://www.lotte-isf.or.jp	① 食料の生産・加工・流通・保存・備蓄・廃棄に関わる技術 ② 食品のマーケティング ③ 食文化 ④ 嗜好性 ⑤ 栄養 ⑥ 食品安全・衛生 ⑦ 上記①から⑥の複合領域	将来、大学および公的研究機関において、「食と健康」に関する広域科学分野での研究で中核となることが期待される若手研究者のうち、2016年4月1日時点で以下の要件に該当する方が応募できます。 (1) 30歳以上40歳以下の方とします。ただし、国籍は問いません。 (2) 申請時点での所属先は国内・海外を問いませんが、助成期間中の所属先は国内のみとします。 (3) 助成期間中に所属予定先の機関長(学部長・研究科長・研究所長等)の承認および育成支援教員の推薦を得て、育成支援教員の下に研究の場を確保し、独自のテーマで主体性を保ちつつ研究を遂行できる方とします。 (4) 博士号取得者であること。かつ、取得後数年の研究実績を有する、または同等の能力を有する方とします。 (5) テニユア(終身雇用)として勤務していない方とします。 なお、現在、所属機関等から給与を受けている方は、助成開始後の二重給与を認めませんのでご注意ください。 (6) 他財団等からの助成については、研究課題名の重複や、エフォート管理上、研究費の過度の集中が認められた場合は採択しません。 (7) 当財団の「奨励研究助成」と重複して応募することはできません。 (8) 2016年11月10日(木)の面接審査および2017年2月16日(木)の贈呈式に、申請者本人および育成支援教員本人が必ず出席できる方とします	(1) 助成金額 1件あたりの年間助成金額 1,500万円 助成期間 最長5年間 1件あたりの助成金の総額 7,500万円 (2) 年間助成件数 2件程度	原則、2017年4月から2022年3月までの最長5年間とします

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
H28.4.14	2016/6/10	web申請 2016/6/24 24時 郵送 2016/6/27 12時必着 そろった段階で正式受理	書類申請 及び電子 申請	公益財団法人ロッテ財団 2017年度研究助成 事業 奨励研究助成	公益財団法人ロッテ財団 研究助成 担当 TEL 03-5388-5564 Email lotte_zaidan@lotte.co.jp http://www.lotte-isf.or.jp	① 食料の生産・加工・流通・保存・備 蓄・廃棄に関わる技術 ② 食品のマーケティング ③ 食文化 ④ 嗜好性 ⑤ 栄養 ⑥ 食品安全・衛生 ⑦ 上記①から⑥の複合領域	「食と健康」に関する広域科学分野での独創的・先端的な研究を行う若手研究者のうち、2016年4月1日時点で以下の要件に該当する方が応募できます。 (1) 40歳以下の方とします。ただし、国籍は問いません。 (2) 国内の大学・短期大学・高等専門学校および公的研究機関(以下、「所属機関」とします)に勤務する研究者の方で、博士号取得者または後期博士課程単位取得退学者の方とします。 (3) 助成申請にあたり、応募は本人が行いますが、所属機関長(学部長・研究科長・研究所長等)の承認を得られる方とします。 (4) 原則として個人研究が対象ですが、申請者が研究の代表者であり、かつ申請課題を遂行する上で必要である場合に限り、共同研究を認めます。 (5) 一度採択された方は、助成初年度から数えて3年間は「奨励研究助成」の再申請を行うことはできません。 (6) 他財団等からの助成については、研究課題名の重複や、エフォート管理上研究費の過度の集中が認められた場合は、採択しません。 (7) 当財団の「研究者育成助成(ロッテ重光学術賞)」と重複して応募することはできません。 (8) 2017年2月16日(木)の贈呈式に申請者本人が必ず出席できる方とします	(1) 1件あたりの助成金額 最大300万円 (2) 年間助成件数 10件程度 (3) 年間助成総額 約3,000万円	2017年4月から1年間です。ただし、研究期間は申請時に選択していただき、最長3年間まで可能とします。助成金は、研究期間にかかわらず、最大300万円が助成開始時に支払われます。
H28.4.14	前期 2016/5/18 後期 2016/9/20	前期締切 2016/6/1 後期締切 2016/10/3	書類申請	公益財団法人内藤 記念科学振興財団 2016年度助成金事業 ①研究助成(前期) ②若手ステップアップ 研究助成(前期) ③女性研究者研究助 成金(前期) ④次世代育成支援研 究助成金(後期) ⑤海外研究留学助成 金(後期) ⑥海外学者招聘助成 金(前期・後期) ⑦講演助成金(年4 回)	公益財団法人内藤記念科学振興財団 TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917 Email joseikin@naito-f.or.jp https://www.naito-f.or.jp/	① 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究 ② 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎研究に携わる若手研究者に対する補助 ③ 女性研究者に対して、出産・育児によって研究が中断した際の研究現場への復帰と研究業績を挙げることを支援する ④ 次世代の研究者育成に資するため、将来有望な研究者に対する補助 ⑤ 若手研究者が海外の大学等研究機関に長期間留学する際の渡航費、留学に伴う経費ならびに研究費を補助 ⑥ 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う外国の研究者を招聘する際の費用を補助 ⑦ 国際会議の開催において、自然科学の基礎的研究に関する国内で開催される国際会議の開催に対し、費用を補助	① 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる研究者(年齢制限は無い) 2.日本の研究機関に所属する研究者であること(ただし、国籍は問わない) 3.当財団の選考委員と同一の教室(講座)に所属する者は申請することができない。 4.本助成金を受領した3年未満の研究者(2013~2015年度の受領者)は、申請することができない。 5.海外で行う研究は対象外とする。 6.内藤記念女性研究者研究助成金及び内藤記念科学奨励金・若手ステップアップ研究助成、内藤記念次世代育成支援助成金を受領している者あるいは今年度申請した者は同時に申請することはできない。 ② 1.人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独創的・先駆的に取り組んでいる若手研究者であること。 2.日本の研究機関に所属する研究者であること(ただし、国籍は問わない) 3.過去の内藤記念科学奨励金・研究助成の受領者であり、当助成金申請時に報告書を提出済みであること。但し、2015年度内藤記念科学奨励金・研究助成の採択者は申請対象外とする。 4.申請締切時点で博士号取得10年以内の研究者であること。 5.内藤記念科学奨励金・研究助成申請時のテーマ、あるいはそれから派生したテーマに基づく申請であること。 6.当財団の選考委員と同一の教室(講座)に所属する者であっても、申請することができる。 7.海外で行う研究は対象外とする。 8.申請時及び助成期間中に、内藤記念科学奨励金・研究助成、内藤記念次世代育成支援研究助成金、内藤記念女性研究者研究助成金、いずれも申請する事はできない。 ③~⑦は申請要領参照	①300万円 ②3年間で総額1000万円以内 ③年間200万円を継続する3年間 ④年間200万円を継続する3年間 ⑤450万円 ⑥エリアにより助成額が異なる ⑦上限1件50万円	各々で異なるため申請要領参照
H28.4.14	2016/6/6	2016/6/20	書類申請	公益信託臨床検査 医学研究振興基金 平成28年度「藤田 光一郎賞」顕彰候 補者募集	みずほ信託銀行(株)リテール・事業 法人業務部福祉信託係 公益信託臨床検査医学研究振興基 金事務局 TEL 03-3274-9210 FAX 03-3274-9504 Email koueki_r@mizuho-tb.co.jp	臨床検査医学、とくに臨床検査室の管理運営分野において、顕著な功績があった臨床検査専門家を表彰する	臨床検査医学を専攻し、臨床検査室に永年にわたり専従し、とくに臨床検査室の管理運営の分野において研究、創意、工夫、質改善等に関連して顕著な成果を挙げた者とする。原則として、定年退職後、その業績が確立した時点で顕彰する。ただし、叙勲および褒賞の受賞者は除く。	毎年1名 50万円	-
H28.4.14	2016/6/6	2016/6/20	書類申請	公益信託臨床検査 医学研究振興基金 平成28年度「研究 奨励金」授与候補 者募集	みずほ信託銀行(株)リテール・事業 法人業務部福祉信託係 公益信託臨床検査医学研究振興基 金事務局 TEL 03-3274-9210 FAX 03-3274-9504 Email koueki_r@mizuho-tb.co.jp	臨床検査医学(臨床病理学、臨床検査診断学、検査診断学、病体検査学等)および臨床検査分野に関する研究のうち、本基金の目的に合致するもの。	つぎのいずれの項目にも該当しない研究者とする。 1. 応募締切日において年齢が50才以上の者 2. 教授職または病院・研究所等の部長職以上の者 3. 過年度において本基金の研究奨励金を受けた者	1件100万円以内	-
H28.4.14	各締切の2週間前	第1回 終了 2016/4/4~5/9 第2回 2016/8/1~9/5 第3回 提供の状況に応じて公募予定	書類申請	大学共同利用機関 法人自然科学研究 機構生理学研究所 平成28年度研究用 ニホンザルの提供 の公募について	NBR事業推進室 Email nbr-office@nips.ac.jp FAX 0564-55-7868 http://nihonzaru.jp/	趣旨 自然科学研究機構生理学研究所では、平成14年度より研究用ニホンザルを国内の研究者に安定して提供することを目的として、ナショナルバイオリソースプロジェクト「ニホンザル」を京都大学と共同して推進してきました。ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)は、生命科学の基盤となるバイオリソース(生物資源)のうち、我が国の研究に重要と認められたものについて、体系的に収集・保存・提供を行うとともに、バイオリソースの質の向上、時代の要請に応じたバイオリソースの整備を行っています。	申請者は、以下の条件をすべて満たすこと。 (ア)申請する研究の実験責任者であること。 (イ)研究機関等に職を持つ者、又は科学研究費助成事業等の公的研究費の申請資格を持つ者。ただし、大学院学生、研究生は申請者として認めない。 (ウ)所属機関等において当該研究に関する動物実験計画の承認を受けていること。 (エ)自然科学研究機構生理学研究所「ニホンザル」バイオリソース運営委員会(以下「運営委員会」という。)が主催する講習(事前講習会)を受講していること。	提供リソース 研究用ニホンザル 約30から80頭	ニホンザルの出荷は、7月に降に行う。 その他詳細は募集要項参照
H28.4.14	2016/6/2	データ送信締切 2016/6/16 郵送締切 2016/6/30	電子申請 及び書類 申請	公益財団法人住友 財団 2016年度環境研究 助成募集 1.一般研究 2.課題研究	公益財団法人住友財団 TEL 03-5473-0161 FAX 03-5473-8471 Email sumitomo- found@msj.biglobe.ne.jp http://www.sumitomo.or.jp	1.一般研究 環境に関する研究(分野は問いません。) 2.課題研究 2016年度募集課題 「喫緊の環境問題解決のための学際研究または国際共同研究」	研究者の所属が営利企業(兼務を含む)の場合には応募不可ですが、他には特に制約はしていません。	総額 1億円 1. 一般研究 8,000万円 1件当たり最大 500万円 2. 課題研究 2,000万円 1件当たり最大 1,000万円	1. 一般研究 2016/11-2017/10 2. 課題研究 2016/11-2018/10

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
H28.4.14	2016/6/2	データ送信締切 2016/6/16 郵送締切 2016/6/30	電子申請 及び書類 申請	公益財団法人住友財団 2016年度基礎科学研究助成募集	公益財団法人住友財団 TEL 03-5473-0161 FAX 03-5473-8471 Email sumitomo-found@msi.biglobe.ne.jp http://www.sumitomo.or.jp	理学(数学、物理学、化学、生物学)の各分野及びこれらの複数にまたがる分野の基礎研究で萌芽的なもの(それぞれの分野における工学の基礎となるものを含む。)	若手研究者(個人またはグループ) ● 応募する研究者(グループの場合は代表者)が研究計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及び助成期間満了後の報告を確実に実行することを条件とします。 ● 応募する研究者は、助成申請に当たり所属機関の長(大学の場合は学科長・学部長・付属病院長等)の承諾が必要です。個々の所属機関の応募者数に上限はありません。 尚、研究者の所属が営利企業の場合は、応募不可です。 その他、詳しくは要項参照	(1) 助成金の総額 1億5,000万円 (2) 1件当たりの助成額 最大500万円 (3) 助成件数の目安 90件程度	原則として2016年11月～2017年10月の1年間とします。但し、助成期間中に必要な場合は更に1年間を限度として延長することができます。
H28.4.14	2016/6/27	2016/5/9～7/11	書類申請	公益財団法人コスメトロジー研究振興財団 2016年度「コスメトロジー研究」公募	公益財団法人コスメトロジー研究振興財団事務局 TEL 03-3206-7721 FAX 03-3206-7720 Email office@cosmetology.or.jp http://www.cosmetology.or.jp	化粧品及びそれに関連する基礎的分野の課題 分野1. 素材、物性に関する分野 分野2. 生体作用、安全性に関する分野 分野3. 精神、文化に関する分野	対象課題の研究に従事し、下記の人の推薦を受けた者とする。 (1) 教育機関の場合は所属長(学長または学部長、研究所長など) (2) (1)以外の公的な機関・学会・団体の場合は代表者。	1件当たり 100万円又は50万円 分野3は25万円もあり 助成総額 3000万円	2年以内とする
H28.4.14	2016/6/16	2016/4/1～6/30	書類申請	一般財団法人東京顕微鏡院 「遠山椿吉記念第5回 食と環境の科学賞」	一般財団法人東京顕微鏡院公益事業室内「遠山椿吉賞」運営事務局 TEL 03-5210-6651 Email mito@kenko-kenbi.or.jp http://www.kenko-kenbi.or.jp/	今年度の重点課題は、「食品の安全」「食品衛生」「食品の機能」「食品媒介の感染症・疾患」「生活環境衛生」に関わる研究です。	日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ 選考条件 原則として最近の業績(調査、研究、技術の開発など)を評価対象とする。	副賞:賞金100万円	遠山椿吉賞選考委員会において論文を選考の上、1件を採択し、10月に発表します。授賞式および記念講演、レセプションは、平成29年2月7日(火)に開催の予定。
H28.3.29	2016/5/17	2016/5/31	書類申請	公益財団法人山崎香辛料振興財団 平成28年度研究助成	公益財団法人 山崎香辛料振興財団 TEL 03-3969-7023 FAX 03-3558-2300 E-mail: tsukasa_wada@sbfoods.co.jp URL: http://yamazakispice-promotionfdn.jp	香辛料の基礎的研究並びに香辛料の原材料や応用などの関連分野に関する研究	原則として、2に掲げる研究範囲の研究を行うグループ又は単独(個人)とします。	1件当たり100万円を基準とし、研究計画等を審査して、本財団が決定します。	平成28年10月1日から平成29年9月30日の1年間
H28.3.29	2016/5/20	2016/4/4～2016/6/3	電子申請 web	クリニカルニュートリション研究会 スカラーシッププログラム2016 研究助成	クリニカルニュートリション研究会事務局 http://isvcn.jp	犬と猫の臨床栄養学に関するもの	大学の獣医系・動物看護系の学部学生および大学院生 ● 他の助成や奨学金を受けている場合は、助成対象外となる場合があります	1件につき年間80万円(研究者20万円/研究室60万円)* * 奨学金寄附金として	1年(採用通知後*～2017年10月28日)* 2016年6月未予定 ・同一研究者が継続を希望する場合には、1年間の延長申請を行うことができます ・選考委員会にて延長の可否が決定されます(2017年6月予定)
H28.3.29	2016/5/11	2016/5/25	書類申請	公益財団法人伊藤科学振興会 平成28年度研究助成金	公益財団法人伊藤科学振興会 TEL 03-6808-6890 Email itokagaku-tkcn.net.jp http://www.itoka.or.jp/	生物学	大学の准教授、講師、助教およびこれに準ずる者として、これに準ずる者のある際は選考の対象に加える。大学院生・研究者は共同研究者とすることが出来る。	合計3～4件に対して各1件当たり100万円以内の研究助成を行う	-
H28.3.29	2016/5/17	2016/3/10～2016/5/31	書類申請	公益財団法人黒住医学研究振興財団 平成28年度研究助成	公益財団法人黒住医学研究振興財団事務局 TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514 Email info@kmf.or.jp http://www.kmf.or.jp	① 臨床化学 ② 分子生物学(医学) ③ 臨床微生物学 ④ 臨床免疫学 ⑤ 検査血液学 ⑥ 人体病理学 ⑦ 疫学* *臨床検査・衛生検査についての集団(mass)を対象に扱う研究の七つの領域とします。	医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人とします。 ただし、大学教授及び国公私立研究機関等の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除きます。	助成額は1件100万円を限度とし、13件以上とします。	研究期間は、原則として1年間としますが、終了しない場合は中間報告として研究・会計報告書を提出していただきます。 平成28年10月28日(金)の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈します。
H28.3.29	2016/5/27	2016/6/8～2016/6/10	書類申請	独立行政法人日本学術振興会 第7回(平成28年度)育志賞受賞候補者の推薦について	-	対象分野 人文学、社会科学及び自然科学にわたる全分野	平成28年4月1日現在34歳未満であり、次の①又は②に該当する者であって、平成28年5月1日において我が国の大学院博士後期課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する4年制の博士課程を含む)に在学している者 ① 大学院における学業成績が優秀であり、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいる大学院生であって、当該大学長から推薦された者 ② ①に相当する大学院生であるとして所属する学会長から推薦された者 なお、推薦に当たっては、論文等の業績のみにとらわれず、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な者を多様な観点から推薦願います。 また、海外からの留学生で大学院博士後期課程に在学している者についても、推薦することができます。	授賞数は16名程度とし、受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として学業奨励金110万円を贈呈します。	-

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
H28.2.10	2016/5/6	電子申請 4/1～5/21 書類送付 4/1～5/31	書類申請 及び電子 申請	公益財団法人第一三共生命科学研究振興財団 平成28年度第34回研究助成	公益財団法人第一三共生命科学研究振興財団 (Daiichi Sankyo Foundation of Life Science) TEL 03-3243-9061 FAX 03-3243-9551 E-mail: ds-zaidan@daiichisankyo.co.jp ホームページ: http://www.ds-fdn.or.jp	(1) 助成対象の研究は、単独研究又は共同研究のいずれでも結構です。共同研究の場合には主たる研究者を明示して下さい。 (2) 申請に当たり、当財団の理事会において指定された全国の生命科学分野の大学大学院研究科長、研究機関長並びに当財団の評議員・理事・顧問及び高峰記念三共賞・高峰記念第一三共賞受賞者に推薦状作成用紙を送付しておりますので、推薦を得て下さい。推薦件数は1推薦者につき1件となります。 (3) 助成対象研究分野は以下といたします。なお、当該分野の選択は研究テーマ、所属機関により決めて下さい。 a. 基礎的生命科学分野 b. 臨床的生命科学分野 c. 創薬生命科学分野	(1) 生命科学特に疾病の予防と治療に関する諸分野の基礎的研究並びに臨床への応用的研究に意欲的に取り組んでいる、日本国在住の研究者(生命科学分野の博士の学位を有する者或いはこれと同等以上の研究能力を有する者)を対象とします。 (2) 50歳未満(平成28年4月1日現在)の研究者を対象とします。	1件あたり200万円を、1年毎に100万円ずつ2回に分けて交付します。助成件数は25件の予定です。	(助成期間:平成28年4月1日～平成30年3月31日)